

(施策評価表71)

【施策番号IV-14-②-1】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦 略	【戦略14】熊本アカデミズム ～「知」の集積を「地」の活力につなげます～	主な施策	◆留学生から「選ばれる」まちを創る ～留学生とつながる仕組みづくり～
			②グローバルな人材の育成		

1 取組内容	2 主な事業 〔上段: H25事業 下段: H24事業〕	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・ 熊本が留学先として選択されるよう、熊本市、大学などと連携して、住まいのあっせんや生活上の様々な相談支援にとどまらず、県内企業への就職に向けた仲介や交流の場の提供など、様々な支援をワンストップで行う窓口を設置します。</p>	留学生交流拠点設置支援事業	国際課	3,148	<p>・ 「くまもと都市戦略会議」で産学官連携した取組みを検討し、H25年度から県・市・大学コンソーシアム熊本の三者共同で「留学生支援のためのワンストップ窓口の設置」に係る事業を実施することが決定された。</p> <p>・ 「留学生が活躍できる場や機会の創出」として、大学コンソーシアム熊本や九州グローバル産業人材協議会等との共催により、留学生向けの就職合同説明会を開催し、県内企業等19社と留学生132人が参加した。</p>	<p>・ 大学コンソーシアム熊本が設置する「留学生支援のためのワンストップ窓口」が円滑に運営できるよう支援する。</p> <p>・ 県内の大学で学んでいる留学生を対象に、海外（特にアジア）に進出する県内中小企業の就職合同説明会を実施する。</p>	<p>・ 留学生支援の実施主体となる大学コンソーシアム熊本を適切に支援するために、適宜事業の進捗状況を把握する必要がある。</p> <p>・ 県内では留学生の採用に取り組む企業は多くはなく、業種も限られることから、就職合同説明会ではより多くの企業及び留学生の参集に努めるとともに、企業側と留学生側双方のニーズを的確に把握する必要がある。</p> <p>・ 大学コンソーシアム熊本を構成する県内14大学等の適切な意見集約を図る必要がある。</p>	<p>・ 戦略指標での「留学生が1,000人」の達成に向け、様々な留学生支援をワンストップで行う窓口が設置され、円滑に運営されるよう支援する。</p> <p>・ 就職合同説明会を定着させ、留学生と県内企業双方が理解を深め、就職を考える際の情報提供の場となるようにする。</p> <p>・ 留学生が住みやすく、学びやすい環境の実現を通じ、留学生の満足度を高め、留学生数の増加を図る。</p>
	中小企業と留学生とのマッチング支援事業	労働雇用課	950 916				
<p>・ 熊本市、大学などと連携して、留学生が熊本のファンになるよう「熊本の魅力を伝える講座」の開設を促進するとともに、帰国後も熊本とつながりが保てるよう「留学生ネットワーク」の仕組みづくりを行います。</p>	留学生交流拠点設置支援事業	国際課	3,148	<p>● 「くまもと都市戦略会議」で「留学生支援のためのワンストップ窓口の設置」等について検討し、H25年度から事業を実施することが決定。</p> <p>● 大学コンソーシアム熊本や九州グローバル産業人材協議会等との共催により、留学生向け就職合同説明会を開催し、県内企業等19社と留学生132人が参加。</p>	<p>● 大学コンソーシアム熊本が実施する「留学生支援のためのワンストップ窓口設置」等の取組みが円滑に運営できるよう支援。</p> <p>● 県内の大学で学ぶ留学生を対象とした海外に進出する中小企業の就職合同説明会の実施。</p>	<p>● 大学コンソーシアム熊本が実施する留学生支援の進捗状況の適宜把握。</p> <p>● 就職合同説明会における、より多くの企業及び留学生の参集と、企業側と留学生側双方のニーズを的確に把握。</p> <p>● 大学コンソーシアム熊本を構成する県内14大学等の適切な意見集約。</p>	<p>● 「留学生が1,000人」の達成に向け、留学生支援ワンストップ窓口の設置、留学生ネットワークの構築等を支援。</p> <p>● 留学生が住みやすく、学びやすい環境を実現し、留学生の満足度向上、留学生数の増加を推進。</p>
		主な施策のまとめ					